

平成30年度事業報告書

1 事業概要

(1) 食育の推進を支援する事業（定款第4条第1号）

学校等で実施される食育推進事業を支援するため、次の事業を実施した。

① 各種研究大会・講習会等の実施

食育指導の中心的な役割を担う栄養教諭・学校栄養職員及び子どもたち等を対象に、第61回北海道学校給食研究大会をはじめ、食育に係る講習会等の事業を北海道教育委員会及び北海道学校給食研究協議会等と連携し実施・後援した。

○ 研究大会・講習会等

事業名	開催年月日	開催地等	開催区分	備考
第50回北海道高等学校給食研究協議会 北海道大会	7月25日	札幌市	後援	主催:北海道高等学校給食研究協議会
子ども給食教室	7月27日	札幌市(当会)	主催	共催:北海道教育委員会 後援:札幌市教育委員会、北海道学校給食研究協議会
第61回北海道学校給食研究大会	7月31日	浦河町	主催 (実行委員会)	主催(実行委員会):北海道教育委員会、浦河町教育委員会、北海道学校給食研究協議会
食育推進研究協議会	10月25日	釧路市	共催	主催:北海道教育委員会
第41回学校給食展	10月27日	札幌市	後援	主催:札幌市学校給食栄養士会
北海道学校給食コンクール	12月26日	札幌市(当会)	共催	主催:北海道教育委員会

② 研究団体等への助成

学校給食に関わる研究団体等に対し、学校給食の充実及び食育を推進するための経費を助成した。

〈助成先等〉

- ア 北海道学校給食研究協議会
- イ 北海道学校給食研究協議会栄養部会
- ウ 北海道学校給食研究協議会学校部会
- エ 北海道学校給食研究協議会共同調理場部会
- オ 札幌市学校給食栄養士会
- カ 北海道高等学校給食研究協議会
- キ 北海道特別支援学校栄養教諭研究協議会
- ク フードリサイクル実施学校への米糠の提供（小中学校 124 校／15kg×598 袋）

③ 施設・設備の貸出し

ア 研修室・調理室等の貸出し

学校給食関係団体からの要望に応じ、研修室等を無料で貸出した。

〈貸出実績〉

研修室 4団体5日間

イ 「北海道学校給食献立システム」の貸出し

給食用食材や給食メニューのデータ及びアレルギー物資に関するデータ等を管理・活用して献立を作成するためのシステムを、本年度新規の1箇所を加え、60箇所の学校及び共同調理場に無料で貸出した。

〈貸出実績〉

貸出先内訳 小学校 3校 共同調理場 56施設 国立大学法人付属学校 1校

ウ レプリカの貸出し

文部科学省委託事業で作成した「鮭」「さんま」「昆布」の実物大レプリカと、新たに「野菜の加熱前後フードモデル」「野菜1日350g指導フードモデル」「朝食指導フードモデル」を追加し、食育の授業に役立ててもらうため、学校及び共同調理場等21箇所に無料で貸出した。

〈貸出実績〉

貸出先内訳 小学校 5校 中学校 0校 特別支援学校 6校 共同調理場 8施設
児童福祉関係等 2団体

エ バイキング用食器の貸出し

学校給食が多様化する中、楽しく潤いのある食事環境づくりを支援するため、バイキング用食器(皿、鉢、プレート等)17種類について、学校及び共同調理場173箇所に延べ4,452枚を無料で貸出した。

〈貸出実績〉

貸出先内訳 小学校 137校 中学校 25校 特別支援学校 3校 共同調理場 8施設

オ DVD等の貸出し

学校給食従事者の衛生管理等研修及び児童生徒の食育指導用として、DVD等6枚を学校及び共同調理場等7箇所に無料で貸出した。

〈貸出実績〉

貸出先内訳 小学校 2校 中学校 1校 特別支援学校 0校 共同調理場等 4施設

④ 情報提供

広報誌(北海道学校給食研究協議会と共同発行)及びホームページにより、学校給食レシピの紹介や各種研究会・研修会等、広く学校給食や食育に関わる情報提供を行った。

○ 広報紙「いただきます」発行実績

号数	発行年月日	発行部数	主な配布先
第205号	平成30年5月29日	各号3,000部	北海道教育委員会 各市町村教育委員会 各学校給食実施校
第206号	平成30年9月28日		各学校給食センター 日本スポーツ振興センター
第207号	平成30年11月15日		全国学校給食会連合会 各都府県学校給食会
第208号	平成31年3月11日		北海道パン・米飯協同組合 札幌アール・ビー・エム協同組合 札幌市学校給食麺協同組合

(2) 安全・安心な学校給食用物資を安定的に供給する事業（定款第4条第2号）

常に良質で安全なものを安定的に供給するとともに、保護者の給食費負担に影響を及ぼさないよう価格の安定を図る観点から、次の事業に取り組んだ。

① 学校給食用物資の安定供給

ア 物資の安定供給（必要量・品質確保）

a 主食となる給食米については、ホクレンとの年間契約により、また、パン等の主原材料となる小麦粉は関係製粉会社との年間契約等により、それぞれ必要量を確保した。

b 給食米については、すべて道産米を使用し、地元産を希望する市町村については、それぞれの要望に応え安定的に供給した。

また、パンについても、地産地消の観点に立って、北海道産小麦粉100%を使用したパンを安定的に供給した。

一般物資の供給については、道内産、国内産を主原料とした物資の開発・選定を行い、安全で良質な物資の供給拡大を図るとともに、配送協力店の協力を得ながら、物資を安定的に供給した。

○ 学校給食米の供給状況

区 分		平成29年度	平成30年度	前年度対比
米飯給食実施供給市町村数		130	128	98.5%
米飯給食実施未供給市町村数		40	42	105.0%
米飯給食実施供給学校数		1,543 校	1,519 校	98.4%
米飯給食実施供給児童生徒数等		377,829 人	368,991 人	97.7%
米の使用量	全 道	3,610,891 kg	3,536,586 kg	97.9%
	一人当	9.6 kg	9.6 kg	100.0%
週平均米飯実施回数		3.1 回	3.1 回	100.0%

○ 学校給食用パンの種類別供給状況

(単位：個)

品 名	平成29年度	平成30年度	前年度対比
基準パン等	10,306,176	10,586,096	102.7%
バターパン	1,935,160	2,004,752	103.6%
黒砂糖パン	1,476,310	1,367,089	92.6%
かぼちゃパン	211,334	294,601	139.4%
クルミパン	4,601	5,637	122.5%
ミルクパン	390,649	355,575	91.0%
ごまパン	47,530	58,200	122.4%
ココアパン	307,873	288,769	93.8%
ソフトフランス	983,483	1,089,285	110.8%
合 計	15,663,116	16,050,004	102.5%

(注) 基準パン等：札幌規格（レーズンパン、豆パン）旭川規格（米粉パン、米粉あんパン）を含む。

バターパン：旭川規格（米粉バターパン）を含む。

- c 当会の附属機関である「物資開発委員会」において、北海道産原料及び国内産原料を使用した商品や、アレルギー対応商品を中心に、新たに25品目の物資選定を行った。

なお、今年度は、北海道産原料を使用した新商品開発には至らなかった。

○ 物資開発委員会委員

区 分	地 区	氏 名	所	属
委 員 長	札幌市	清 水 祐 子	札幌市立前田北小学校	栄養教諭
副 委 員 長	石狩	鈴 木 里 絵 子	北広島市立東部小学校	栄養教諭
委 員	後志	大 西 早 紀	泊村立泊中学校	栄養教諭
委 員	空知	武 藤 恵	栗山町立栗山小学校	栄養教諭
委 員	胆振・日高	下 川 沙 和	厚真町立厚真中央小学校	栄養教諭
委 員	渡島・桧山	岸 部 理 津 子	北斗市立大野小学校	栄養教諭
委 員	上川・留萌・宗谷	小 林 佑 実	幌延町立幌延小学校	栄養教諭
委 員	オホーツク・十勝	檜 山 巴	紋別市教育委員会学校給食センター	栄養教諭
委 員	釧路・根室	柳 澤 要 予	羅臼町立羅臼小学校	栄養教諭

○ 一般物資取り扱い実績

区 分	平成29年度	平成30年度	前年度対比
一般物資総額 (A)	1,341,193千円	1,416,871千円	105.6%
開 発 物 資 (B) <small>* (A) の内数</small>	28品目 155,914千円	36品目 161,969千円	103.9%
開発物資の割合 (B) / (A)	11.6%	11.4%	

イ 物資の価格安定

- a 年間需要計画をもとに一括大量購入するスケールメリットを生かした物資を確保することにより、低廉な価格での物資の供給に努めた。また、教育の機会均等を図る観点から、精米・小麦粉・脱脂粉乳・一般物資については、離島を含め全道すべて同一価格で提供した。
- b 市町村の給食に関わる予算を考慮し、全ての取り扱い物資について年度当初又は学期前に価格を公表し、市町村が各月の給食費の額を一定とすることができるよう努めた。
- c 給食に要する経費のための支援として、精米1kg当たり3.83円の値引き助成措置を行った。平成30年度の助成総額は年間約13,545千円となった。

○ 米穀・小麦粉等の供給数量・金額

区 分	単位	計画数量等	実績数量等	実績割合%	備 考
1 米 穀					
(1)精 米	kg	1,337,800	1,311,555	98.0	自校炊飯 (内 胚芽米 384,355kg) (内 YES!clean米 225,870kg)
(2)米 飯	kg	2,244,500	2,225,031	99.1	委託炊飯 (内 YES!clean米 204,899kg)
2 小麦粉					
(1)小麦粉	kg	99,300	121,400	122.3	
(2)小麦粉製品					
小麦粉	kg	1,484,600	1,423,833	95.9	委託製パン 894,522 kg 委託製麺 529,311 kg
ビートグラニュー	kg	52,100	51,698	99.2	
ショートニング	kg	24,600	24,377	99.1	
脱脂粉乳	kg	25,400	25,012	98.5	
3 脱脂粉乳(調理用)	kg	900	975	108.3	
4 一般物資	千円	1,346,909	1,416,871	105.2	

② 学校給食用物資の安全性の確保

ア 学校給食用物資の衛生検査の実施

安全・安心な物資を提供するため、随時に自主検査を行った。

なお、今年度は、共同調理場等からの検査依頼は無かった。

〈検査実績〉

検体数 212検体 (内訳 自主検査 212検体 依頼検査 0検体)

イ 加工委託工場への助成措置

パン・米飯・麺の加工委託工場の衛生管理の向上を図るため、施設の補修等衛生管理の改善に要する経費について、7工場に約2,100千円の助成を行った。

トイレや床を改修した工場からは、工場の衛生面が改善された、などの報告を受けた。

ウ パン品質審査会の実施

学校給食用パンの品質の向上を図るため、学校給食関係者の協力を得て、加工委託工場を対象に焼き上がりの状態、味、香等の品質審査会を2回開催した。

審査員からは「高評価で美味しいパンが多くなっている。」などの評価をいただき、審査結果を踏まえた技術指導の対象となる加工委託工場はなかった。

審査結果は、当法人のホームページに掲載し、多くの学校給食関係者に周知した。

〈開催実績〉

- ・第1回全道学校給食用パン品質審査会 平成30年7月6日(金) 49工場
- ・第2回全道学校給食用パン品質審査会 平成31年3月1日(金) 48工場

エ 研修会の実施及び講師の派遣

衛生管理の徹底及び意識の向上を図るため、学校給食共同調理場の管理運営者を対象とした「学校給食共同調理場管理運営者研修会」を開催した。また、市町村等主催の衛生管理講習会に、当会専門職員を派遣し、指導・助言等を行った。

〈開催・派遣実績〉

- ・学校給食共同調理場管理運営者研修会の開催

平成30年5月18日（金）

倶知安町 全道から33名参加

- ・衛生管理講習会への専門職員の派遣

2会場（遠軽町福祉センター・大空町女満別研修会館大会議室）

オ 加工委託工場及びPB商品製造工場への衛生確認調査の実施

主食（パン・米飯・麺）の加工委託工場における衛生管理状況等を確認するため、全道73工場中72工場について、当会専門職員等による実地調査を行った。加えて、主食以外のPB冷凍食品等の製造工場を対象とし、道内工場1カ所、道外工場17カ所について調査した。

カ 検査機器の貸出し

学校等からの要請により、一般細菌、大腸菌群、黄色ブドウ球菌検査等のため「ふらん器」「ATP式拭き取り検査器」「手洗いチェッカー」「紫外線ランプ」等を学校及び共同調理場等に無料で貸出した。

〈貸出実績〉

- ・ふらん器 9箇所（小学校6校 中学校1校 共同調理場2施設）
スタンプ型培地75枚、手形培地10枚提供
- ・ATP式拭き取り検査器 50箇所（小学校25校 中学校3校 共同調理場19施設
特別支援1校 その他2）
検査用スティック1000本提供
- ・手洗いチェッカー 9箇所（小学校4校 共同調理場3施設 特別支援学校2校）
- ・紫外線ランプ 3箇所（共同調理場3施設）

2 評議員・役員及び職員数

(1) 評議員 9名

(2) 役員 7名 (理事長1名 常務理事1名 理事4名 監事1名)

(3) 職員 19名

○ 評議員・役員の就任状況 (平成31年3月31日現在)

役職名	氏名	就任年月日	現職	推せん団体等	備考
評議員	9名				
	穂積 邦彦	27.6.25	恵庭市教育委員会教育長	北海道都市教育委員会連絡協議会	
	田鍋 敏也	30.6.20	壮瞥町教育委員会教育長	北海道町村教育委員会連合会	
	本間 達志	30.6.20	札幌市立発寒西小学校長	北海道小学校長会	
	橋本 直樹	30.6.20	留寿都村立留寿都中学校長	北海道中学校長会	
	吉川 紫乃	29.6.26	札幌市立平岡南小学校栄養教諭	北海道学校給食研究協議会 栄養部会	
	平田 弘子	30.6.20	北海道PTA連合会事務局次長	北海道PTA連合会	
	荒山 睦子	29.6.26	札幌市PTA協議会副会長	札幌市PTA協議会	
	畠山 京子	30.6.20	一般社団法人北海道消費者協会会長	一般社団法人北海道消費者協会	
	吉澤 正伸	27.6.25	北翔大学教授	北翔大学	
理事	6名				
	千葉 俊文	28.6.20	公益財団法人北海道学校給食会理事長	理事会	
	佐藤 淳司	29.9.22	公益財団法人北海道学校給食会常務理事	理事会	
	河原 範毅	30.6.20	北海道札幌東高等学校長	北海道高等学校長協会	
	千葉 聡美	30.6.20	北海道南幌養護学校長	北海道特別支援学校長会	
	日下 聡	29.6.26	美唄市学校給食センター長	北海道学校給食研究協議会 共同調理場部会	
	永本 宏	31.1.30	札幌市教育委員会生涯学習部学校施設担当部長	札幌市教育委員会	
監事	1名				
	小田 雅視	27.6.25	小田雅視税理士事務所長	高野公認会計士事務所	

3 理事会・評議員会開催状況

(理事会)

平成30年6月4日(月) 平成30年度第1回定時理事会

平成30年6月20日(水) 平成30年度第1回臨時理事会 (決議の省略)

平成30年8月24日(金) 平成30年度第2回臨時理事会 (決議の省略)

平成31年1月22日(火) 平成30年度第3回臨時理事会 (決議の省略)

平成31年2月25日(月) 平成30年度第2回定時理事会

(評議員会)

平成30年6月20日(水) 平成30年度定時評議員会

平成31年1月30日(水) 平成30年度第1回臨時評議員会 (決議の省略)

平成31年3月14日(木) 平成30年度第2回臨時評議員会